



公立大学法人

大阪府立大学

OSAKA PREFECTURE UNIVERSITY

挑戦する君をサポートする府大のしくみ

あなたのやる気を支援する



後援会
チャレンジくん事業

Facebook「大阪府立大学後援会」で検索

後援会は、クラブ活動の物品援助やラーニングコミュニティなど教育研究環境の整備、後援会文庫の設置、就職活動の模擬面接等学生生活の向上のため幅広い活動を行っています。

夢と夢の相乗効果



夢こもんず

Facebook「夢こもんず」で検索

卒業生と夢を語り合いませんか？
夢を持てる学生だけではなく、むしろ夢がもやもやとした学生大歓迎！大阪府立大学校友会がサポートしています。

変わりたい成長したいと思う仲間がいます！



たひだち
出発サポート
プログラム

www.startlife.jp/fudai/support

普通の大学生活だけでは、なかなか身に付かない能力や経験出来ない事に、学生が自ら主体的に挑戦することをサポートするプログラムです。詳しい講座内容はホームページをご覧ください。

経営マネジメントを学ぶ



essence

Facebook「第15回 楽しく経営」で検索

社会人の方と経営勉強会をします。必要なのは、教養を請う姿勢と志です！

府大生による府大生のための就活支援団体



One to One
Communications
ワンコミ

Facebook「ワンコミ」で検索

府大OBさんとの交流会をメインに府大生の就活サポートを行っています！その他定着者との交流会、グループディスカッション練習会、面接練習を企画。人生に一度の就職活動を僕らと一緒に充実させましょう！

ボランティア活動の紹介、地域との仲介、プロジェクト立ち上げの協力をします！



V-station
ボランティアセンター

volunteeropu.web.fc2.com

一瞬でも「やってみよう！」と思ったら何もいりません。その想いだけをV-stationへぶつけに来てください。スタッフが全力で応援します！

府大で始まる！世界を股にかける最強の“博士”を養成するプログラム



博士課程教育
リーディング
プログラム

sims-program.osakafu-u.ac.jp

キーワードは「システム発想型」。
文部科学省に選ばれた産業リーダー養成拠点の博士選抜に君も挑戦しませんか？

公立大学学生ネットワーク



LINK topos

311nc.wordpress.com

キーワードは「学生の垣根の無い協働が未来を創る！」。年に一度は、全国の学生が地域の未来を考える全国大会を開催！

学長室でランチミーティング

Q:え！そんなことができるの？

A:できます！あなたも奥野学長とお話してみませんか？！夢を語りたい、府大をもっと良くしたい、ただ学長とお喋りがしたい、テーマは自由です。府大の学長に近づいてみよう！



お申し込みは「MICHITAKERS」
Mail: michitake.opu@gmail.com
まで。先着順。一定の人数に達し次第、学長とご相談ののち、開催日時を決定します。

全学無線LANが使えます！



無線LAN環境が整った
全学無線LANが利用できます

2013年11月より、新しい全学無線LANを全学生が使えるようになりました！この全学無線LANでは、学生の持ち込みPC(WinとMac)で無線LANが利用できます(要・事前のPC登録)。府大の学生および教職員が対象です。詳しくは学生ポータル「学術情報センター」タブにてご確認ください。

他にもさまざまな「挑戦」サポートがあります。視野を広く持つて学内を探してみよう！

公立大学の★

次なる目標へ挑戦し続けるアメフト部！

SHRIKES シュライクス

昨年、残り8秒で劇的逆転勝利をおさめるなど数々のドラマを生み出し2部リーグ優勝！創部以来初めて1部昇格をかけた試合に挑み、たくさんの人に勇気と感動を与えてくれました。強豪校のようには十分な設備が無く、専門コーチがいない中で、生まれた強さの秘訣とは？



Change ~ All for Div. I ~

かつてない挑戦に挑んだわけですが、困難をどうやって乗り越えましたか？

元主将・中下駿(N)：2部優勝を目指すために、今ある環境を生かし、一人ひとり後輩の自主性を引き出してチーム全体で戦うことが必要だと考えました。専門のコーチがいないからこそ、選手に「考える力」が身につく！しかし府大には大学院生の学生コーチがたくさんいて、上下関係に分け隔てなく話し合える場を設けてくれます。その垣根をさらに低くし、よりコーチと連携するシステムを構築し、これからも受け継がれるチームの基盤を作りたいと思いました。ポジションごとに「どんな自分になりたいか」「現在の自分」「その差は何か」「どうすれば生まれるか」という内容をコーチへ定期的に報告し、コーチ自身もコーチングしやすいように工夫しました。結果、練習に来てくれるコーチがさらに増えるなど、グラウンドに来やすい雰囲気を作ることができ、より練習に磨きをかけることができました。

主将・福永卓真(F)：コーチが選出MVP選手に加え、新たに4回生がマネージャーと後輩からMIP選手(Most Impressive Player)を選ぶ制度を作ってくれました。意識の成長や雰囲気づくりに貢献した選手のことで、後輩の自主性ややる気をより引き出そうとしてくれて頑張れました。中下さんはけがでプレーできなかったのですが、つらさをこらえて一生懸命チームを考えてくれる姿を見て、自分たちも応えようと思い必死になれました。

N：自分はプレーしていないのに、という雰囲気になかったから逆に頑張らせてもらった。最終試合のとき、選手全員のヘルメットに僕の背番号である「1」のシールを貼ろうと提案してくれたのも実は後輩なんです。あの時は本当にうれしかった。

数々の挑戦に挑み、アメフトを通してよかったことは？

N：成せばなるということ。設備も十分ではないけど、チームには必ずいいものがある。それを活かして当たり前のことを徹底的にできるようにした。意識が変われば行動が変わる。行動が変われば習慣が変わる。頑張れば勝利が味方してくれそうです。

新チームの次のスローガンは？

F：「For SHRIKES」→チームのため、自分のため、そしてシュライクスに関わる全ての人のために、感謝を忘れずアメフトをしてくこと！スポーツをしていく中で、品格のあるチームを土台とし「enjoy」「brash」「unity」の三本柱で1部昇格を目指します。

応援してくれた人へメッセージを

N：シュライクスは、たくさんの人に支えられています。僕たちが成長することで感謝の気持ちを伝えてきました。後輩がその想いを引き継いでくれると思っています。どうも、ありがとうございました。

新入生へメッセージを

F：熱い仲間と充実した4年間を！Come and join us!!

アメフト部だけにやたらとアメリカンな横文字にこだわる主将のあこさんでした。春からは、ムードメーカーの福永さんが率いる新チームの発足です！次はみなさんが挑戦のバトンを渡すとき！一生の宝となるたくさんの仲間に出会えるはずですよ。

HPには、元選手・元マネージャー、コーチのコメントも掲載！



MICHITAKE!

未知を知って「満ちていく」あなたの世界

2014.03

03

あなたの知らない世界を届けたい。未知を知ること、あなたは満ちていく。未知知らない世界がきっとここに。You can always take MICHITAKE!

Michi Takeメンバーが選ぶ
今月のMICHITAKE!

工学部応用化学科4年
上辻 孟さん

「挑戦しよう」と思うのはなぜ？

シンプルなお話で、「大切にしたいことは大切にしたいくないですか？」という話です。それは例えば、夢、友達、家族、仕事、思い出、やりがい、趣味、健康…。優先順位の話です。僕も昔は、どっかかっていうとやりたいことも夢もなかったし、周りにどう思われるか常に気にしてたし、周りに気に入られようとしてたんですよ。でも、「ああ、人生安定してた。怖いことも不安なこともなかったけど、面白いことも特になかったな」という人生を過ごしたいのかどうかって思って。自分自身まだまだできてない部分もいっぱいあります。だから世界周ったんですかねとか、起業したんですかねとか、そこだけ聞いたらなんかすごいんですねって言われるんですけど、そんなことなく、ただの本当の凡人なんです。あがき続けている。

上辻さんが今「挑戦しようとしている」ことは？

「人の人生を変える」ことです。まあ、人生を変えるってのはおこがましいですけど、その人が人生のステージを一段上がれるサポートができればと思います。ウジウジ悩んでいた時、いろんな人と会う中で、人に影響を与えて変えていく人を見て、単純にかっこいいと思ったんですよ。で、こんな人みたいになりたいなところからスタートしていて。進路や生き方について悩んでませんか？だったら僕に話してください。絶対変えます。だからどんと来い！

取材場所：大阪府立大学「I-site なんば」内「まちライブラリー@大阪府立大学」

Editorial note 編集後記

「未知への挑戦、勇気ある一歩を！」未知は私たちにワクワクさせ、挑戦することでしか得られない世界を生み出す。自分の体験が誰かのためにになれば、誰かの挑戦を後押しできたら…私たちはそんな「利他のおせっかい」をしたい。全ての挑戦する人達へ、この一冊を捧げます。(日野浦)

詳しい情報は HP でぞ公開中！

大阪府立大学 ミチ・テイク

Facebook 始めました！「Michitake」で検索を！

大阪府立大学「Michi Take(ミチ・テイク)」第3号 2014年3月発行

【編集責任者】
合田 紗規 Goda Saki
人間社会学部 4年

【編集スタッフ】
日野浦 弘樹 Hinoura Hiroki
大学院工学研究科 修士2年
雨堤 彩 Amazutsumi Aya
大学院工学研究科 修士2年
富依 勇佑 Tomiyori Yusuke
大学院工学研究科 修士2年
島袋 克哉 Shimabukuro Katsuya
大学院工学研究科 修士2年
長野 将吾 Nagano Shogo
工学部 3年
松田 景太 Matsuda Keita
工学部 4年
市川 由梨 Ichikawa Yuri
経済学部 3年
野村 友紀子 Nomura Yukiko
経済学部 3年

編集協力：株式会社フルハウス・イグゼ

【発行・お問い合わせ先】
公立大学法人大阪府立大学 広報渉外部広報課
〒599-8531 大阪府堺市中央区学園町1番1号
TEL. 072-254-9103 (ダイヤルイン)
Mail. koho@osakafu-u.ac.jp

リサイクル適性

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

VEGETABLE OIL INK

学生から見た面白い授業や研究、ユニークな部活やサークル、熱心に取り組んでる課外活動。また学生の一日のスケジュールや生活など、また学生と深く関わっていることや見えるものがある。受験生みんなにとって、それはきっと身近で共感できる、リアルな大学の姿。先輩として、ありのままの大学の姿、そして今のうちに知っておいて欲しいことを受験生に伝えたい。「未知」。私たちは知らないことが多い。可能性は無限大。視野を広げて、大学というものを、そして世界を見てほしい。自分の可能性を拡げ、開花させる。あなたにとって、この広報紙がそんなキッカケとなりますように。「Michi」take!!



MICHITAKE!

未知を知ること、あなたは満ちていく。未知知らない世界がきっとここに。You can always take MICHITAKE!

Values of MICHITAKERS

Challenge

自分自身が未知へ挑戦する

私たちは知っている。その積極的な未知への一歩で人生が変わることを！だから挑戦を止めず、未知を追い続ける。

Give=Take

利他のおせっかい

素敵な未知との出会い・キッカケを、たくさんの人に！あなたのためになることが、私たちの喜びです。

Movement

人とのつながり・協働

一人ではできないことも、同じ想いを持った仲間とならばできる！つながりを大切に、ムーブメントを起こします。

Thanks

恩返し

府大の“ヒト”の魅力や生きている多様な“コト”を伝えたい！お世話になった大学に恩返ししたいのです。

THE! ZADANKAI!

MICHI TAKERS

2014年に卒業するMICHI TAKERSが贈る「これから挑戦するあなたに」

私たちが進行役です！



取材 野村 友紀子

取材 市川 由梨

社会人になって、どんな仕事をしたいですか？

A：私は研究職で採用されてカチッとしたイメージがあるけど、型にはまらない研究をしたいな。女性の視点から母性などを組み込んだ研究とか。

あとは、『Michi Take』で自分のフィールド以外の人と関わって面白かったから、広報とか文系職種にも乗りこんでいきたいな。

T：おもしろいね。俺もひとつのことに縛られたくないけど、まずは一つの分野に対して人に教えられるほどの専門性を身に付けたいね。将来的にはマルチに活躍できる研究所長に！（笑）

A：私とは逆だね。研究所長かぁ、とみー（Tomiiori）、昔は遅刻っこだだったのにね！（笑）

T：学部時代はサークル活動に打ち込んでたからね！！

S：僕はITエンジニアで、みんなが無職になってしまうぐらいのシステムを作りたい（笑）

A：考え方がこんなに違うんだね。

H：俺はそういう価値観の違う人たちをつながりたい！『Michi Take』を立ち上げて、いろんな価値観を持つ人たちを引き合わせる事ができたと思う。ただ力のある人が集まってるだけでは何も生まれない、それってもったいないよね。自分が走る事でそれぞれの強みを引き出し、みんなが目標達成できるようにすることが好きだな。

T：ボランティア団体の設立に関してきっかけは？

H：震災支援のため5つ程の団体の代表や副代表が集まっていただけのところに、ミッションやビジョンを策定して、みんなが同じ方向を向いて地域に貢献できるようにしたんだ。

A：地域の防災活動など地域に根差した活動は、「公立大学」の存在意義としても大切。ボランティアで学ぶことは多いよね。

母校府大での思い出を語ってください！

S：新しいことができるって事で、わくわくしていたな。



SHIMABUKURO

HINOURA

TOMIYORI

AMAZUTSUMI

A：実は府大が志望校ではなくて（笑）よくお風呂で泣いたけど、いつかこんなことでいじける自分が悔しくなった。それで、何かに打ち込みたいと思ってバスケットに入らせてもらった。2回生からの入部で悩むこともあったけど、友達、先輩、後輩の支えで濃い6年間を過ごせたし、すばらしい仲間や恩師にも出会って府大に入って本当に良かった！

府大のどこが好き？

T：人かな。テニスサークルに入って仲間ができた。今の自分は、そこで出会った多くの人から影響を受けているからね。

A：府大はスマート・柔軟でオンオフの切り替えができる人が多いと思う。あと、人と人との距離が近い。大学の規模が大きすぎず小さすぎないからね。それが自分に合っていたと思うな。

T：そうそう、図書館や学内を歩いているだけで友達によく会うよね。生協前での立ち話が楽しい（笑）

H：俺は協力しあえることが府大の強みだと思う。地味だと言われる弱みの裏には、まじめで協調性があるという強みがある。

S：僕もオーケストラ部を通じて協力的な子が多いと感じたな。

H：こんなのやりたい！って言ったら集まってくれる環境に恵まれているよね。

A：府大だからこそ仲間を支えられて、たくさんのことに挑戦できた今の人生に、満足してる！

H：目立たない良さだから最初は見つけるのが難しいよね。「あれ？府大すごい」って他大学の人の交流で気づけた。「総合大学」ってのも強みだよな。

A：うん。それになかにもずには、おいしい飲食店が多いと思うな。大学に保育園があるのも、仕事・研究と育児を両立する人への優しさの表れでユニークだと思う！

挑戦する大先輩！ 日産自動車 志賀俊之副会長からのメッセージ



取材 松田景太

取材レポ

2013年11月、白鷺祭にあわせて行われた卒業生行事「ホームカミングデー」に、府大OBで日産自動車の志賀俊之副会長が招かれ、記念講演会が行われました。講演後、志賀副会長と志賀さんの直系の後輩である経済学部生との特別座談会、学生時代在籍していたESSの現役学生の懇親会も行われ、そこにミチ・テイク取材班（松田・合田）も参加しました！



日産自動車株式会社 副会長
志賀 俊之さん
1976年府大経済学部卒。同年日産自動車に入社。アジア大洋州営業部ジャカルタ事務所長・企画室長、アライアンス推進室長、常務執行役員、COOなどを経て、2013年副会長に就任。現在に至る。

学生との特別座談会

学生からの質問の一つひとつ答えていかれる志賀さんは、終始強く伝えようとしていたことがありました。それは『ナレッジ』『スキル』『コンピテンシー』という3つの力を学生時代に鍛えなさいということ。「日本人はコンピテンシーの中で、特に積極性に欠けている。例えば、何か質問ありますか？と聞いても誰も手を挙げない。謙虚というものを美德とするのが日本文化であることはわかっているけれど、ビジネスにおいて外国人と渡り合うためには、謙虚な態度ばかりではいけない」また、最近の就活に対する学生の姿について、「最近の学生は根性とやる気だけをアピールする人が多すぎる。さっき言った『3つの力』をアピールしないといけな。ガラバゴス人材では日本国内なら重宝されても、世界に出てグローバル人材にはなれない」と力強く話されました。『ナレッジ』『スキル』『コンピテンシー』この3つのうち、僕たちはどの力に長けているのだろうか。どの力なら自信を持って、あると言えるのだろうか。僕たち大学生は、志賀さんのいう「3つの力」を鍛えるために、将来のため、日本のためにもっと勉強しなければいけない、と感じました。



志賀副会長と経済学部生とともに

ESS English Speaking Society OB・OG懇親会

続いて志賀さんは、学生時代在籍した、ESSのOB・OGと現役ESS学生との懇親会にも出席されました。

懇親会では、当時のESSを知る志賀さんの同期の方も参加されていて、先の座談会とはまた一つ違った、なごやかな雰囲気の中で行われました。

現役学生が実際に英語ディベートを行った際に、志賀さん含めOB・OGの方が口を揃えて、「ESS時代に培った英語力・ディベート力が今に活かしている。ディベートができない日本人は、議論で外国人に負けてしまう」と話しておられました。志賀さんはこのESSでの経験から、英語で営業できたらいいなと思い、海外での仕事を希望されたそうです。

また、外国人相手に仕事をする上では「違った価値観を受け入れられるかどうか」という共感能力が大事であり、相手の文化や価値観を認め、違いを明確にした上で、互いに歩み寄ることによって、ビジネスとしての一つの目標を達成できるということを教えていただきました。



志賀副会長とESS懇親会参加者

地域への挑戦！ 府大生 出張します！



取材 富依 勇佑

地域のみなさん！私たち府大内の多くの部活や学生団体は地域の方々から公演・出演依頼を受けています！そんな府大生をもっと知ってもらいたく、今回はそのモデルケースとして、地域のつながりを持つ3つの学生団体を取材しました！！



アカペラサークル“ONE BEENS”

連絡先 | onebeens2@yahoo.co.jp

定期演奏会のほか、老人ホームや小学校などでも活動させていただいています。地域の方にもっとアカペラを知ってもらい、楽しんでほしい！！演奏のご依頼などお待ちしてます！

楽器や機材がなくても、人に感動を与えることができるのがアカペラの魅力と笑顔で語ってくれました。



奇術部

連絡先 | fudai.kijuku@gmail.com

地域のイベントから子ども会まで、さまざまなイベントに出演させていただいています。楽しいメンバーが駆けつけるので、ぜひご連絡ください！

マジックやジャックリンクを日々練習し、さまざまな場所でその成果を披露しています。府大内でも気になった方が多いんじゃないでしょうか？



OPU for 3.11 ネットワーク

連絡先 | opufor3.11@gmail.com

3.11から3年が経ち、徐々に忘れ去られている一方で、南海トラフ地震は、30年以内に70%の確率で発生すると想定されています。「いま」というタイミングに、災害大国日本で生きている私たちは、災害とは切り離せない関係にあるのかもしれない。地域のみなさん、私たちと一緒に被災地や災害について考えてみませんか？

被災地支援地域防災活動に取り組む学生主体のボランティア団体。東北でのボランティア活動をはじめ、大学近くのテイサービスや大阪府下の中学校・高校で防災についての活動に取り組んでいるそうです。

この3団体は、4/5(土)に行われる「花(さくら)まつり」にも参加します！

Topics

○あなたの挑戦！を支える同志を募集しよう！
Facebookグループ「府大生全員集合！」は、現役生・卒業生など府大関係者なら誰でも参加可能なグループページで、現在400名を超えるメンバーが登録しています。「挑戦のために仲間を集めたい！」「府大を盛り上げる取り組みを告知したい！」という方、ぜひページを検索してみてください。府大生、府大OB・OG同士の情報共有を促したり、縦、横のつながりを深める場所を広げましょう！

○「Michi Take」編集スタッフ急募！
現在、私たちと一緒に「Michi Take」を創り上げる学生メンバーを募集しています。編集会議に始まり、取材や原稿作成はもちろんのこと、学長や広報担当理事とのランチミーティングにも参加できます。他にも大学広報に関わる機会が満載です。きっとあなたの糧になる経験が待っています。少しでも興味を持った方、まずは「挑戦！」してみてください！
ご連絡は「Michi Take」制作学生チーム「MICHI TAKERS」
Mail: michitake.opu@gmail.com まで。

○奥嶋駿介さん・「夢鳥」MV 公開！

第2号で紹介しました、奥嶋駿介さん制作の大阪府立大学卒業ソング「夢鳥」がついに完成！ youtube等でミュージックビデオ(MV)を公開しました。奥嶋さんはもちろん、総勢約200名の学生、教職員らが映像内に登場します。奥嶋さんの想いに触れたい方、MVを見てみたい方は、ぜひ奥嶋さんのブログをチェックしてください！
大学生シンガーソングライター Shunsuke ⇒



○4/5(土)に花(さくら)まつりが行われます！

大阪府立大学では地域貢献・交流の一環として、例年「府大 花(さくら)まつり」を開催しています。キャンパスを開放し、学生・教職員・参加団体が一体となってイベントを盛り上げています。今年度は4/5(土)に開催予定。子どもと学生が触れ合える、またキャンパスの「自然」、大学の「知」、学生の「活力」に触れたいだけの、様々な企画を予定しています。